

ダンネスト標準施工要領書

遮熱・断熱・保温塗料で
快適環境の創造と省エネ実現

地球に優しい多機能塗料で

夏は涼しく、冬は暖かく

ダンネスト標準施工要領書

1. ダンネスト商品構成(全て水性塗料で構成しています)

材料	塗料名	容量	トータル塗布量 (kg/m ²)	塗装面積 (m ² /缶)	備考	
下塗料	ダンネストシーラー (水性浸透性シーラー)	15kg	0.15 ~ 0.2	75~100	スレート、ALC、カラーベスト「コロナル屋根」 コンクリート、モルタル壁等、 水を吸収する塗料下地に使用	
	ダンネストプライマー (可塑剤防止プライマー)	3kg	0.15 ~ 0.2	15~20	シート防水、ウレタン防水上にダンネスト を塗布する場合に使用(ブリード抑止用)	
主材	ダンネスト基本色	12kg	0.3 (0.15 x 2回)	40	(白)	よく攪拌して塗装して下さい。 塗装の下地が60℃以上の場合、 最大8%迄の水で希釈して下さい。
	ダンネストライトカラー	12kg	0.3 (0.15 x 2回)	40	(淡彩色)	鉄板等、水を吸収しない塗装下地の場合、 直接塗装しても十分な接着力があります。 錆がある場合は通常の錆止め処理が必要です。
カラートップ	ダンネストカラー	15kg	0.2 ~ 0.25	60~75	(濃彩色)	ダンネスト主剤の濃色仕上げとして使用して下さい。
クリアトップ	ダンネストクリーン	8kg	0.04 ~ 0.08	100~200	超親水汚れ軽減塗料(無色) 新しい塗膜上…0.04~0.08kg/m ² 吸込みの大きい下地面…0.08~0.2kg/m ²	

[保管上の注意]

- ・直射日光の当たらない、換気の良い、水濡れしない屋内に保管してください。地面に直接置くことは避けて下さい。
- ・高温(40℃以上)保管は避けて下さい。塗料がゲル化してしまい塗装出来なくなくなります。0℃以下での保管は避けて下さい。
凍結させると成膜不良、接着不良を起こす原因になります。
- ・完全に蓋をして水分の揮散の無いように保管して下さい。

【施工要領】

2. ダンネスト塗装基本仕様書

(1) 鋼板屋根等、水を吸わない塗装下地（下塗材無しで十分な接着力があります）（ダンネストは1缶で40㎡を2回に分けて塗布して下さい）

工程	塗料名	塗装回数	希釈率 %	塗装間隔(23℃ 50%)		塗装方法	備考
				工程間(H)	完全硬化(H)		
主材塗	ダンネスト	2回	0~8	2	24	刷毛、ローラー、エアレスガン	

(2) スレート、コロニアル、カラーベスト、アスファルトシングル屋根、コンクリート、モルタル壁等、水を吸収する塗装下地（ダンネストは1缶で40㎡を2回に分けて塗布して下さい）

工程	塗料名	塗装回数	希釈率 %	塗装間隔(23℃ 50%)		塗装方法	備考
				工程間(H)	完全硬化(H)		
下塗	ダンネストシーラー	1回	0	1~2	—	刷毛、ローラー、エアレスガン	
上塗	ダンネスト	2回	0~8	2	24	刷毛、ローラー、エアレスガン	

(3) 戸建て住宅の屋根等濃色仕上（ダンネストは1缶で40㎡を2回に分けて塗布して下さい）

工程	塗料名	塗装回数	希釈率 %	塗装間隔(23℃ 50%)		塗装方法	備考
				工程間(H)	完全硬化(H)		
①下塗	ダンネストシーラー	1回	0	1~2	—	刷毛、ローラー、エアレスガン	
②中塗	ダンネスト	2回	0~8	2	24	刷毛、ローラー、エアレスガン	
③上塗	ダンネストカラー	1~2回	0	3~5	24	刷毛、ローラー、エアレスガン	※ダンネスト施工翌日

(4) 屋上等のウレタン防水、塩ビ防水塗装下地（ダンネストは1缶で40㎡を2回に分けて塗布して下さい）

工程	塗料名	塗装回数	希釈率 %	塗装間隔(23℃ 50%)		塗装方法	備考
				工程間(H)	完全硬化(H)		
下塗	ダンネストプライマー	1回	0	2~7	—	刷毛、ローラー、エアレスガン	
上塗	ダンネスト	2回	0~8	2	24	刷毛、ローラー、エアレスガン	

(5) クリアトップ仕上げ（上塗に白やライトカラー選定の場合に、雨だれ等による汚れを軽減する塗料です）

工程	塗料名	塗装回数	希釈率 %	塗装間隔(23℃ 50%)		塗装方法	備考
				工程間(H)	完全硬化(H)		
クリアトップ	ダンネストクリーン	1回	0	—	24	刷毛、ローラー、低圧スプレー	※上記(1),(2),(4) 施工翌日以降

(6) 基材が木材の場合は、木材用シーラーで下塗りをを行い、ダンネストを塗装してください

3. 施工上の要点、注意事項

【施工前下地調整】

下地調整が不十分だと塗膜の剥がれの原因や仕上がりの不良原因となります。

塗り替え時は、高圧洗浄及びデッキブラシ等によって、塗装面の汚れ・ほこり・こけ・劣化塗膜(死に膜)・油分など付着物を除去し凹凸の補修(水が溜まったり・ほこりが溜まることのないよう)を実施して下さい。

折板など金属下地で錆の発錆が見られる場合には、電動工具等を用いて入念なケレンを行って下さい。その後、下地に適した錆止め塗装を行って下さい。

【施工時の注意事項】

強風・降雨・降雪の予想される場合、気温5℃以下・湿度85%以上、結露の予想される場合は、塗装を避けて下さい(低温時・高湿時は、乾燥が遅れます)。

昼夜の温度差が大きい時期は、結露によるツヤ引けなど塗膜異常が発生しますので、塗装時間帯に注意して下さい。

塗装後に降雨を受けたり、結露が生じると塗膜が白化する場合があります。この場合は、全面目荒らしを行って再塗装して下さい。

塗装後、未乾燥状態で凍結致しますと造膜・接着不良を起こします。

※気温・湿度・塗装間隔などの施工管理を充分に行って下さい。

①ダンネストシーラー(スレート・ALC・カラーベスト・コンクリート下地)

ダンネスト主材塗装前の下処理として、ダンネストシーラーを塗装して下さい。

無希釈使用、希釈は不可です。

被塗物の種類(素材)によって塗布量が変わります。

吸い込みの著しい素材は、塗装面が濡れ色になるまで塗り込んで下さい。

ダンネストシーラーは、塗装前にシーラーが均一になるように充分に攪拌して下さい。

ダンネストシーラー開缶後は、一度にご使用下さい(使い切ってください)。

シーリング材の上への施工は、専用プライマー施工の上、ダンネストシーラーを施工して下さい。

※刷毛・ローラー・エアレスガンでの施工が出来ます。



②ダンネストプライマー(シート防水・ウレタン防水・塩ビクロス面)

可塑剤によるブリード抑止用プライマー

ダンネストプライマーは、充分に攪拌を行って下さい。攪拌時に泡を巻き込まないように注意して下さい。

※刷毛・ローラー・スプレーでの施工が出来ます。

③ダンネスト主材

遮熱性能は、塗色によって異なります。

断熱性能は、塗色によって変化ありません。

塗装後、スケや塗り残しがある場合の補修は、塗装ムラが出やすいので注意して補修して下さい。

ダンネスト主材は、比重の軽い中空ビーズを配合した一液性塗料です。

開缶時には、塗料上層に中空ビーズが浮いた状態になっている場合があります。

攪拌機によって中空ビーズが塗料に混ざり込むように十分な攪拌を行って下さい(2分間)。

ダンネスト主材は、高粘度の塗料なので攪拌時塗料に泡が混ざらないように注意して下さい。

特に淡彩色は、着色顔料が塗料上層に浮き出していますので、色が均一になるよう十分に攪拌して下さい(2分間)。

シーリング材の上への施工は、専用プライマー施工の上、ダンネスト主材を施工して下さい。

※攪拌作業によって中空ビーズをバランスよく混ぜることは、断熱効果を均一にし、接着力・弾力性・耐久性のある塗膜にする重要な作業です。

ダンネスト主材は高粘度の塗料ですので、被塗物の表面温度及び気温、天候によって、希釈量を調整してご使用下さい。

※表面温度計で、塗装面の温度を確認して下さい。

(1)ローラー・刷毛・刷毛による施工

希釈の目安

塗装面温度40℃以下・・・無希釈

50℃・・・清水300cc～400cc/缶

60℃・・・清水500cc～600cc/缶

70℃・・・清水600cc～800cc/缶

80℃以上の場合は、メーカー担当者までお問合せ下さい。

塗装面の温度が高温の場合、塗料の水分の蒸発が早く、塗料がベタ付き平滑な塗膜表面を得られない場合があります。

希釈水を塗料容器に入れ十分に攪拌してから塗装して下さい。

過度の希釈は、成膜不良・接着不良を起こします。



(2)エアレスガンによる施工

希釈量: 塗装表面温度に関係なく600cc/缶目安の清水で希釈し攪拌して下さい。

※壁面及び斜面に塗布する場合は、希釈率を調整しダレの防止を行って下さい。

ポンプの仕様・目安

高粘度塗料対応型

出力: 8L/min、150kgf/cm²、900w程度

チップ径: 0.6mm程度



[ガルバニウム鋼板屋根への塗装]

(1)旧塗膜がある場合

旧塗膜が活膜で付着が健全であれば、洗浄の後ダンネスト主材を塗装して下さい。

(2)旧塗膜が無い場合

ガルバニウム鋼板表面を化学処理等が施されている場合があります。

例)フッ素加工:ダンネスト主材を30cm四方程度のテスト塗を数か所行い、養生の後基目試験等により付着性を確認して下さい。

付着力が充分の場合、ダンネスト主材にて塗装仕上げを行って下さい。

付着力が不足の場合は、目荒らしの後非鉄用プライマー(防錆力を持つ)を下塗の上ダンネスト主材を塗装して下さい。

特に新設ガルバニウム鋼板は塗料の付着性が劣ることがありますので注意して下さい。

④ダンネストカラートップ(遮熱機能カラートップ)

ダンネスト主材の標準色より濃い色を要望の場合に仕上げ用として塗装して下さい。

色合いにより遮熱性能が異なります。缶を開けると、色が分離したり、沈降している場合があります。充分攪拌して下さい。

塗膜性能を発揮するためには所定の数量と塗回数の施工を行って下さい。1回塗りの場合には十分に隠ぺいしない場合があります。

過度の希釈は剥離、仕上がりが不良、色分かれの原因となります。希釈率を守って下さい。

塗装後スケや塗り残しがある場合は、補修塗りか再度全面塗装を行って下さい。

※刷毛・ローラー・エアレスガンでの施工が出来ます。

⑤ダンネストクリーン

ダンネストクリーンは、塗装済み面と未塗装面の区別が付きにくいことがあります。

塗継ぎが予想される場合は、塗装最後の確認が出来るように(目印しを付ける等)注意して下さい。

※濃彩色に塗装をしますとツヤムラが発生する場合がありますので、濃彩色には塗装しないようにして下さい。

※ダンネスト主材に上塗りする場合は、塗装間隔を24時間以上開けて塗装して下さい。

※ダンネストクリーンは親水性塗料で、水の力で汚れを洗い流します。したがって雨水のかからない箇所は、低汚染機能を発揮致しません。

※ダンネストクリーンは水性のコーティング剤ですが、若干のアルコールを含んでおりますのでアルコール臭がします。

液だれしやすいため養生をしっかりと行い、ローラー・刷毛塗装する場合、よくしごきながら塗装して下さい。

塗装すると、塗装前と比較して僅かに光沢が低下します。

特に平面では短毛ローラーを使用して、均一に塗装して下さい(エアースプレー・低圧スプレーが推奨です)。

ダンネストクリーン塗装面に高圧洗浄やブラシなど物理的に負担をかけた場合は、性能を発揮できなくなる場合があります。

4. 安全衛生上の注意

・予防: 取り扱い時には、保護メガネ・マスク・手袋等の保護具を使用して下さい。

使用後は、手洗い・うがい・洗顔を行って下さい。

目に入った場合や飲み込んでしまった場合は、塗料の製品説明書(SDS)を持って、急ぎ医療機関に相談して下さい。

塗料缶を積み重ねる場合は、荷崩れに注意して下さい。

容器は、容器取手で吊り上げないで下さい。吊り上げる場合には、吊り上げネットなどで垂直に吊り上げて下さい。

・廃棄: 使用済み容器は、関連法規に基づき産業廃棄物として処理して下さい。

残塗料は、産業廃棄物として処理して下さい。